

(4) 様式 4_助成事業実施報告書

2020年 / 月22日

助成事業実施報告書

団体名 一般社団法人市民の学習・活動交流センター・ヒル

代表者・役職名 氏名 代表理事 加藤克子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

市民講座 焼き物の見方入門講座(初心者向け)

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2002年須田学習塾に市民向けカルチャーセンターを設立 2003年ヒル設立 2009年に法人化
立川南口に持つ自前のヒル・ヒルを中心にさまざまな市民講座、講演会、学習会、地域散策など企画、実施するともに、それら企画・実行する個人・団体などに会場の提供や交流活動も行っている。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

焼き物(陶磁器)は、食器などとして日常的に広範囲に利用されている。一方で焼き物には多岐な日用品から高級な美術品まであることもよく知っている。(しかし、それらにどんな違いがあり、何がどういったものなのか、などはよくわからない、といった傾向もある。そこでそれらを理解し、焼き物の見方、見分け方を考える市民講座を企画した。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

焼き物の基本的な見方、材質、技法、デザイン、全国の主な窯場の特徴、歴史などを理解するための学習会
実際に焼き物を焼く窯元(益子焼)の見学、名品とされる陶磁器を展示する美術館(戸栗美術館)の見学。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

磁器と陶器の違い、ろくろ、型、銚子など基本的な作陶技術、染付、色絵、象嵌など加飾、デザインの技術が理解できるようになり、焼き物に対する見方が身につく。焼き物の選び方、買い方にも変化がみられるようになったという参加者が多くみられた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

焼き物の技術、デザインなどは今も日々変化、発展している。焼き物は食器以外にも、磁器などの工業製品、タイルなど建設資材、トイレキッチンなどの衛生陶器、さらには電子機器の部品など多様な用途に活用されている。日本や韓国、中国に限らず世界中で生産されている。など奥の奥まで深く広まっている。それらを考える講座も考えたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

焼き物入門講座

- 「オンタのトビガンナはいいねえ」①
 「やっぱりお茶はジキで飲みたいね。トウキはどうも…」②
 「ツボヤのウオモンは躍動感がある」③
 「職場で使っていたビゼンのヤキシメのコーヒーカップ、割っちゃった」④
 「ミノのシノ、オリベ、ちょっと高いけどいいな」⑤
 「トベ・ハサミのクラワンカ茶碗」⑥
 「アリタのタコカラクサが好き」⑦



これらは、焼き物に関わる会話です。この会話からどんな焼き物がうかんできますか？これくらいの会話ができるようになるろう、というのがこの講座のねらいです。

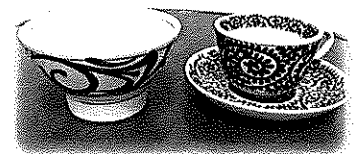
焼き物（陶磁器、せともの…）は、日常的に毎日使っているものであるにもかかわらず、その材料や技法、さらには安価な日用品と高級な美術品の区別など、よくわかっていないのではないのでしょうか？何でこれが100円ショップで？何でこれが1万円なのか？

まず、焼き物の基本である陶器と磁器をおさえて、材質や技法、模様につけ方などの基本を学び、その上で、それぞれの窯場の特徴なども考えてゆきたいと思っています。

手に入る実物や写真だけでなく、美術館や益子焼の窯元の見学も予定しています。

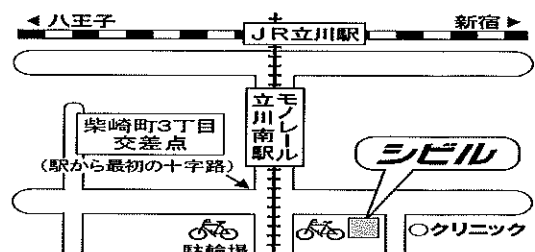
ちょっと知った上で焼き物を見たい、買いたいという人のための初心者向け講座。もちろん、焼き物の技術は中国・朝鮮からもたらされ、世界中で作られ使われていますから、そんな歴史や世界とのかかわりも考えたい。とにかく初心者向けなので、上の会話が4つ以上わかる方には必要ないと思われます。

- 註 ①小鹿田焼（オンタヤキ）＝陶器、は大分 トビガンナは独特の模様
 ②磁器と陶器
 ③壺屋焼（ツボヤヤキ）＝陶器、は沖縄 ウオモンは魚紋＝魚の模様
 ④備前焼＝陶器、は岡山 ヤキシメは炆器（セッキ）
 ⑤美濃焼＝陶器、は岐阜 シノ・オリベは釉薬のかけ方で出る色・模様
 ⑥砥部焼（トベヤキ）＝磁器、は愛媛 波佐良焼（ハサミヤキ）＝磁器、は長崎
 クラワンカ茶碗は独特の形のご飯茶碗
 ⑦有田焼＝磁器、は佐賀 タコカラクサは伝統の模様



第1回	5月8日(水)	19時～21時 シビルにて 概論「陶器と磁器」
第2回	6月9日(日)	戸栗美術館見学
第3回	6月21日(金)	19時～21時 シビルにて 「日本の産地」
第4回	7月14日(日)	益子焼現地見学
第5回	8月1日(木)	19時～21時 シビルにて 「まとめ」
講座終了後のオプションとして日本民芸館、韓国陶芸村への見学も考えています。		
受講料1回1,000円、シビル会員は800円（全回前納は一般4,000円、会員3,500円） 講師：福田恵一（中学校社会科教員）		

お問い合わせは
 一般社団法人（非営利型）
 市民の学習・活動・交流センターシビル
 042-524-9014（担当 こうの）
 立川市柴崎町3-10-4
 civiltachikawa@yahoo.co.jp





ソウル中央博物館



益子・小田部製陶



益子・小田部製陶



益子ろくろ



益子参考館



益子参考館・窯